

キエーロでエコライフの一助に！

山下保子

鎌倉市が抱えるゴミ問題の解決の一助にと、私ども環境厚生部役員四人が非電動型のキエーロの推進に取り組み始めて、3か月。その後、徐々に賛同してくださる方も増え、現在40件（11月時点）の設置になったことは、市内でも画期的な進捗状況です。これを励みに、さらにキエーロの輪を広げようと、11月7日、自治会館に於いて、キエーロ評価会議の場をもちました。雨にも拘らず、これまでにキエーロを設置した方、2年前の電動型のモニターになっておられた方など、19人の参加がありました。

〈先駆的な電動型には賛否〉

鎌倉市が生ゴミ削減にと、最初に力を入れて推奨したのは電動型でした。2年前の新型モニター以前、7～8年前に自発的に旧タイプの電動型を購入された方も少なくなかったようです。新型と旧型では、かなり評価が異なりました。旧タイプは、処理に7～8時間かかり、電気代が2000円ぐらいにも。振動や運転音も激しく、臭いもして、そのうち使わなくなったという意見が複数出ました。それに対して、新型のユーザーからは電気代はまだ心配だが、清潔だし、台所が汚れないので、これからも使い続けたいという声。

〈電動型は果たしてエコか？〉

電動型のスマート感、女性の参加者には魅力に思われました。が、電動型は水気を絞って、あるいは干して、電動で処理するので、衛生的ではあるが、量は減ってもいっぴかりは残り、それを生ゴミとして出すケースも多く、そこまでして本当にエコなんだろうか？との声に、全員がハッとしました。

〈キエーロは楽しい！〉

一方、電気代がかからない、生ゴミが最終的には消えるのが魅力のキエーロ。推進役の環境厚生部役員の気持ちは、ほかのユーザーの反応でした。扱いによっては虫も出るし、臭いを指摘する人も。でも…、キエーロって楽しいよね。との声が上がると、多くの方が笑顔で頷かれたのを見て、部員全員が顔を見合わせて「やったね！」の思いを共有しました。

森さん！ありがとうございます。続けて、自然の土の力って凄い！と感動した。義務だと思えば重たいけど、楽しいから続けられるんじゃないかな？の意見は、キエーロを体験した人、みんなの意見を代弁したものでした。

会議終了間際、今後、キエーロを使い続けたい、始めたいかを挙手で答えてもらったところ、全員一致で賛成！ どんな点が楽しいの？と思った方は、部員に声をかけてください。使用状況をおみせして、ご自分で判断してください—これが推進の基本姿勢です。申し込みの代行、設置後のアドバイスなど、労を惜しまず、努めます。ハイランド鎌倉地区400世帯のうち、なるべく多くのご家庭でキエーロが設置されますよう、よろしく願います。

〈私がキエーロに飛びついた理由〉

山下保子

我が家は、私が退職した2年前まで、ずっと“生ゴミの処理”が悩みのタネでした。夫婦共、都内への遠距離通勤でしたので、朝一番のバスに乗る必要があり、ゴミステーションに(以前は)ネットが出されるのが7時。たまたまネットが出ていたとしても、時間前なのにお叱りを受けることもしばしば。朝から悲しく憂鬱でした。

家でできる生ゴミ処理？何とかしなくては！…。各所からの情報に頼って、バケツタイプの溜め置き型(現在のBBスペシャルに似た商品)、生協で知った「ダンボール コンポスト」、大型のブリキバケツを庭に埋め込み、落ち葉・生ゴミ・米ぬかをミルフィーユ状に積んでみたりもしました。でも問題解決には到らず…。

数年前のことです。市役所で、非電動型生ゴミ処理機「キエーロ」をはじめて見たときは、正直「コレで！」と思いました。関心はスマートな電動型に向きましたが、ちょっと待てとの神の声？ではなく、選択に迷い過ぎて少し面倒になっていました。

長い冷却期間の後、今年4月、いつか見たような…でも少し見栄えのよくなった「キエーロ」に再会！ 待った甲斐あって1割負担の1500円で設置できるとのこと。試してダメなら、園芸資材入れにでも、と即断即決で申し込みました。

セットでついてくる園芸用黒土をどきっと入れた中に、生ゴミをどんどん入れて土をかぶせる…それだけで、土中のバクテリアが生ゴミを分解・消滅させていきます。もちろん、最初は半信半疑でした。使いはじめて2ヶ月、虫が出た！水分過多で固まってきた！など、試行錯誤するうちに付き合い方も分かってきました。

自然界のものは全て土に帰る、コレ本当です。生ゴミ収集日まで取り置くと、どうしても腐敗臭が発生しますが、その嫌な思いもしなくてすみます。何しろ‘消滅型’と謳っているくらいなので消滅して、嵩もほとんど増えません。電気を使わず、資材の交換の必要もありません。

過去、あんなにゴミ出しで悩んだことが悔やまれます。在宅となった今も、生ゴミが出たらキエーロに直行！は快感です。キエーロの中を覗き、バクテリアの仕事ぶりを「自然界の輪廻だわ～」と眺めていられるのは、リタイア後のスローライフならではの楽しみかもしれません。